



令和3年度

# 鹿児島県の教育

4・5月号

## 巻頭言



一般財団法人鹿児島県校長会館理事  
長 鶴丸高等学校長  
前田光久

## 就任にあたって

この度、月野前会長の後任として県連合校長協会に就任いたしました。微力ではございますが、本県教育のさらなる充実・発展に尽くす所存でございます。

連合校長協会は、小・中・高・特別支援すべての校種を統一する、全国にも例のない組織で、この四月には、新しく百五十八名の会員を迎え、小学校長部会長に六笠先生、中学校長部会長に岩越先生、特別支援学校長部会長に福田先生が就任されました。会員の皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

さて、昨年度は、未知のウイルスによって学校の在り方そのものの見直しを迫られた一年でした。まさに、今後私たちが教育を通してその対応を迫られるとされてきた「予測不能な社会」「急激な社会変化」の到来でした。全国一斉の臨時休業の中、学校現場では、いかにして従来の学校教育を復活させるかに苦心を重ね、また、「ニューノーマル」への対応や感染症マニュアル遵守の求めに対し、学校行事等において、苦渋の決断をせざるをえない場面も多かったのではないのでしょうか。

こうした中、学びの保障という点から、ICTを利用した遠隔・オンライン教育の充実が求められると同時に、対面指導との組合せによる「ハイブリッド型」教育の必要性も唱

えられています。そこでは、ハード面の整備が進む中、教師の指導力向上が急務とされており、本年度は、各校種とも、いかにして教師のICT活用能力を高めるかに知恵を絞ることになると思います。

一方、こうした学校を取り巻く環境の変化は、学校教育そのものの意義を再確認することにも繋がりました。今年一月の中教審答申でも「子どもたちや各家庭の日常において学校がどれだけの大きな存在であったのかということが、改めて浮き彫りになった。(中略)学校は、学習機会と学力を保障するという役割のみならず、全人的な発達・成長を保障する役割や、人と安全・安心につながる事ができる居場所・セーフティネットとして身体的、精神的な健康を保障するという福祉的な役割をも担っていることが再認識された。」と述べられています。

学校を預かる私たちには、こうした学校の役割の重要性を学校全体で共有しつつ、子どもの発達段階に応じて、校種を超えた情報交換や連携・協力が求められています。

会員の皆様には、山積する様々な教育課題の解決に向け、まずは自己研鑽に努めながら、四校種がお互いに知恵を出し合い、積極的な取組がなされますようお願い申し上げます。

## \* おもな内容 \*

巻頭言	1	ある日の校長講話	12
提言	2	読書案内	14
退任にあたって	4	一般(助)県校長会館だより	16
新任の抱負	9	編集後記	16

令和3(2021)年 4・5月号

一般財団法人 鹿児島県校長会館

〒890-0056 鹿児島市下荒田四丁目32-13

振替 02030-1-3192

TEL 257-9676 FAX 257-9679

(有) アート印刷

鹿児島市東坂元二丁目29-1

TEL 247-1605 FAX 247-2844